

# 主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本 事項	計画コード	事業名	部名	健康福祉部
	17043	予防接種費用助成事業	課名	長寿健康課 健康づくりG
	施策の大綱	02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実	財務	会計 01:一般会計
	基本施策	02:健康づくり・地域医療の充実	科	款 04:衛生費
	施策の方向	02:疾病予防と早期発見・治療の推進	目	項 01:保健衛生費
戦略プロジェクト	01:「健都さぷり」プロジェクト	目	目 01:保健衛生総務費	
事業予定期間	H 24 ~ R - 年度	主な根拠法令要綱等	予防接種費用助成金交付要綱(インフルエンザ、水痘・おたふくかぜ、肺炎球菌等)	

目的 概要	対象	市民(予防接種対象者)
	目的	予防接種の接種勧奨を行い、予防接種の普及を推進することで、感染症の地域での流行や重症化を予防し、市民の健康保持・増進を図るとともに、保護者の経済的負担の軽減を図る。
概要	概要	次のワクチンについて、予防接種費用の一部を助成する。 対象ワクチン インフルエンザ、水痘、おたふくかぜ、成人用肺炎球菌、MR(定期接種もれ)、ロタ(令和2年度まで)、DPT

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
年度 計画	年度計画	予防接種費用の一部助成 ・インフルエンザ、水痘、おたふくかぜ、 成人用肺炎球菌、MR、ロタ  市民への周知啓発 ・広報、HP、CATV、赤ちゃん訪問、 幼児健康診査問診時 等での啓発	予防接種費用の一部助成 ・インフルエンザ、水痘、おたふくかぜ、 成人用肺炎球菌、MR、ロタ、 DPT  市民への周知啓発 ・広報、HP、CATV、赤ちゃん訪問、 幼児健康診査問診時 等での啓発	予防接種費用の一部助成 ・インフルエンザ、水痘、おたふくかぜ、 成人用肺炎球菌、MR、DPT  市民への周知啓発 ・広報、HP、CATV、赤ちゃん訪問、 幼児健康診査問診時 等での啓発	
	年度実績	○予防接種費用の一部助成 インフルエンザ1,891人、おたふくかぜ421 人、成人用肺炎球菌190人、MR(定期接種 もれ)2人、ロタ延909人、水痘14人  ○市民への周知啓発 ・広報4回、HP2回、赤ちゃん訪問、幼児健 康診査問診、母子手帳交付時、育児相談 での啓発	○予防接種費用の一部助成 インフルエンザ3,197人、おたふくかぜ295 人、成人用肺炎球菌182人、MR(定期接種 もれ)8人、ロタ延501人、水痘5人、DPT318 人  ○市民への周知啓発 広報4回、HP2回、CATV、赤ちゃん訪問、 幼児健康診査問診、母子手帳交付時、育 児相談での啓発		
事業 の計画・実績	計画額	事業費	7,300千円	31,200千円	7,100千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	一般財源	7,300千円	31,200千円	7,100千円	
	予算額	事業費	7,300千円	31,042千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
その他					
一般財源	7,300千円	31,042千円	0千円		
決算額	事業費	6,627千円	19,220千円		
	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	6,627千円	19,220千円	0千円		
人件費	総人件費	1,570千円	1,568千円	0千円	
	一般職員	1,570千円	1,568千円	0千円	
	所要人員	0.20	0.20		
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
総コスト( + )		8,197千円	20,788千円	0千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
指標	名称	周知啓発の実施回数	計画値 4	4	4	
		活動	広報・ホームページ・CATV等での掲載回数	実績値 6	6	
			単位	回	回	回
	名称	予防接種費用助成人数	計画値 1,400	2,500	1,400	
		活動	インフルエンザ予防接種費用助成者数	実績値 1,891	3,197	
			単位	人	人	人
	名称	麻しん患者発生数	計画値 0	0	0	
		成果	市内での麻しん患者発生人数	実績値 0	0	
			単位	人	人	人

事業の改善	前回評価	<p>【前回評価の対応方針の概要を記入】</p> <p>学童期以降の百日せき免疫を維持し、小学校就学前の1年間の期間に「百日せき破傷風ジフテリア混合ワクチン(DPT)」の追加接種することを勧めるため、予防接種費用の助成を開始する。</p>
	改善行動	<p>【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】</p> <p>「百日せき破傷風ジフテリア混合ワクチン(DPT)」を追加接種することを勧めるため、予防接種費用の助成について対象者に個別通知し、さらに広報や健康づくりのてびきでも周知を行った。</p>

		評価	(判定)
事業の評価	活動	<p>【計画どおりに実施できたか】</p> <p>新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行に備え、インフルエンザ助成対象である1歳から就学前児童、身体障害者手帳1～3級・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳所持者、医師意見書がある方については、自己負担分を全額公費負担とし、感染防止対策を実施した。</p> <p>MR予防接種については、対象期間中に接種ができなかった方については、費用助成を行い接種を受けやすい体制とした。</p> <p>転入者については、窓口で予防接種の履歴の確認を行い、必要に応じて予防接種費用助成の案内を行い接種勧奨に努めた。</p>	A 計画どおり実施できた
	成果	<p>【成果は順調に上がったか】</p> <p>インフルエンザ予防接種は計画値を上回る接種者であった。また、MR定期接種もれの費用助成者は昨年度は1名だったが、今年度は8名と増加した。新規事業であるDPT費用助成については、480人に個人通知し、318人の接種があった。これらのことから地域での感染症の流行や重症化の予防につながり、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。</p>	A 十分な成果を得た

今後の対応方針	課題	<p>【課題は何か】</p> <p>MR予防接種については、まず定期予防接種の対象時期に勧奨を行うが、それでも定期接種の時期に受けられなかった人については感染流行を防止するため、費用助成を周知し接種を進める必要がある。</p>	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 <p>【その他の場合、その内容を記載】</p>
	対応	<p>【課題に対し、どのように対応するか】</p> <p>MR予防接種未接種者へに対し、広報やホームページ、個人通知、健康づくりのてびきなどで周知し、さらに園と連携し未接種者への接種勧奨を行う。</p>	
	効果	<p>【対応することで、どのような効果が期待できるか】</p> <p>地域での感染症の流行や重症化が期待できる。</p>	
対応時期		令和3年度	

【1次評価者】	健康福祉部 長寿健康課 健康づくりグループリーダー 村山 寿恵
【最終評価者】	健康福祉部 長寿健康課長 豊田 昌子

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	A	A	A	A	
	成果	B	A	A	A	

令和2年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		31,042 千円
内訳	令和元年度からの繰越額	千円
	令和2年度の最終予算額	31,042 千円
	令和3年度への繰越額	千円